

地域での地場産物活用の推進に向けて

## 地産地消コーディネーター育成研修会 開催のご案内

施設給食における地場産物利用の促進に向けて、給食事業者側と農林水産関係者側の間をつなぐ調整役となりうる地産地消コーディネーターの育成に資することを目的とした、「地産地消コーディネーター育成研修会」を実施します。給食での地場産物利用推進に関わる方なら、どなたでもご参加いただけます。地産地消活動に、ぜひお役立てください。みなさまのご参加をお待ちしております。

開催日時 令和4年11月9日(水) 13:30開会、17:30閉会

開催場所 エッサム神田ホール1号館3階大会議室(301)

〒101-0045 東京都千代田区神田鍛冶町3-2-2

※JR神田駅東口から徒歩1分、東京メトロ銀座線「神田駅」3番出口すぐ

募集人数 会場40名、ライブ配信100名(zoom ウェビナー、又はYouTubeを予定)



### プログラム・講師(案) 敬称略・仮題

13:30 開会

13:45 講座1 地産地消活動の持続性を考える-次世代への広がり動き

京都府立大学大学院 生命環境科学研究科 准教授 中村貴子

14:40 講座2 社員食堂が取り組む地産地消について

プライムナンバー(株)代表取締役、社食ドットコム代表 藤井直樹

- 休憩 -

15:40 講座3 農業や地域の魅力を伝える、農+αの取り組み

株式会社ファーマン 井上農場 代表取締役 井上 能孝

16:30 質疑応答

17:00 講座総括 これからの地産地消の進め方

千葉大学大学院園芸学研究院 教授 櫻井 清一

17:30 閉会

※研修会の内容は、当日録画して、**アーカイブ配信**を行います。 ※視聴は無料、事前申込が必要。

配信期間:令和4年12月~令和5年3月末(予定)

皆さまのご参加をお待ちしております。

### 参加申込方法について

- 参加は無料、事前登録制です。【会場参加・ライブ配信の申込締切日は、11月4日(金)】
- 「参加申込書」(裏面)、又は、「応募フォーム(Google フォーム)」に記入、もしくはメールに直接「都道府県、市町村、お名前、ご所属等、ご連絡先(電話、メールアドレス)」をご記入いただき、下記、事務局までお申込ください。申込後、1週間以内に受付メールをお送りいたします。なお、会場参加は定員になり次第、受付を終了いたしますのでご了承ください。



▶▶応募フォーム(Google フォーム) <https://forms.gle/KHUVN6Ya48zo3CGL9>

応募フォーム OR コード

主催・事務局  
【お申込み・お問合せ】

(一財)都市農山漁村交流活性化機構(まちむら交流きこう) 地域活性化チーム  
TEL:03-4335-1984 FAX:03-5256-5211 E-Mail:[chisan@kouryu.or.jp](mailto:chisan@kouryu.or.jp)  
※開催の詳細や、開催内容・応募用紙等は、下記 URL に掲載しています。  
<https://www.kouryu.or.jp/service/chisanchisho.html>

※会場では、新型コロナウイルス感染防止対策を徹底いたします。熱のある方(37.5℃以上)、体調不良の症状がある場合には、入室をお断りいたしますので、予めご了承ください。会場内では、マスク着用、手指の消毒、検温などご協力をお願いいたします。  
※動画の視聴には、インターネット環境が必要です。また、録画しての視聴・使用はご遠慮ください。

**中村貴子 京都府立大学大学院 生命環境科学研究科 准教授**

1998年8月に京都府立大学農学部生物生産科学科助手として着任し、2018年10月から現職。主な研究テーマは、「農業・農村の多面的機能、生物多様性農業、地域資源を活かす住民主体の経営研究」、「地産地消の成立条件と地域活性化に関する研究」、「農村女性企業の経営と継承に関する研究」、「有機農業の流通に関する研究」等。また様々な主体と連携し地産地消活動を実践。京都府庁日本館前で開催する「京都府庁こだわりマルシェ(2023年3月復活)」の企画運営、京都市の出町柳では、オーガニックの食材や地元京都の伝統野菜や卵も使用したスープつきランチのできるお店「Soup&Smile」を運営している。6つの大学と酒造会社等が連携して取り組む「大学オリジナルお酒研究会」主宰、京都府立農芸高校の畜産コースとのプロジェクト企画など多岐にわたる。NPO 法人日本都市農村交流ネットワーク協会理事、NPO 法人食と農の研究所理事の他、多くの自治体で地域づくりのアドバイザー等を務める。

**藤井直樹 プライムナンバー(株)代表取締役 社食ドットコム代表**

社員食堂を通じて、企業価値を高める社員食堂のあり方を研究する団体として、社員食堂ポータルサイト「社食ドットコム(https://shashoku.com/)」を運営。独自取材により大企業から中小企業まで様々な社員食堂を紹介しているほか、企業の社食担当者同士の勉強会も開催している。また、関西の自治体連合「関西広域連合」が主体の地産地消企画「おいしい! KANSAI 応援企業」では、企業と社員食堂と自治体のマッチングを行っている(2022年9月時点で累計約160)。また YouTube チャンネルもスタートし、企業や店舗における食のイベント等の活動情報も発信している。

**井上能孝 株式会社ファーマン 井上農場 代表取締役**

埼玉県生まれ。高校生の時、アメリカで大規模農場の大きさから農業に興味を持つ。普通科高校に通いながら就農準備校に通学。その時に出会った有機農業者に感銘を受け、卒業後、3年間の有機農業の研修を受けた後、2000年に北杜市に移住して就農。地元でのつながりや経験を重ねながら、有機農業の基盤を作り、2010年に有機 JAS 認証を取得、2017年に会社を設立。現在、約10haの畑で玉ねぎやニンニク等、年間約30品目を栽培している。食育も大切なテーマとして取り組んでおり、各種農業体験の受入れ、地域の福祉施設との連携等、廃校の再活用など、地元の生産者仲間とともに農業の魅力と可能性を広く伝えている。

**櫻井清一 千葉大学大学院園芸学研究院 教授**

1967年群馬県生まれ。東京大学文学部社会学科卒。1989年より農水省中国農業試験場(現:西日本農業研究センター)にて農産物流通の調査研究に従事。2001年より千葉大学園芸学部助手に着任し、2010年より園芸学研究院教授。農業経営学会学術賞・農業市場学会学術賞・農村生活学会学術賞受賞(いずれも2008年)。主な研究テーマは、「農産物および加工食品のマーケティング論(青果物を中心に)」、「農産物直売活動(農産物直売所の組織運営、出荷者の行動、直売を介した生産者と消費者の交流など)」、「農村部における社会関係資本の分析(農村の伝統的集団と新たな組織の評価、住民意識の変化等)」、「農村経済の多角化(都市農村交流事業の評価、ローカル・フードシステム、中小食品企業の連携等)」。

令和4年度 地産地消コーディネーター育成研修会 参加申込書

まちむら交流きこう 地域活性化チーム行き メール:chisan@kouryu.or.jp / FAX:03-5256-5211

都道府県・市町村名	
お名前(ふりがな)	
ご所属・部課名	
メールアドレス	
電話番号	
FAX番号	
参加内容 ※希望の項目に○印	①会場参加                      ②ライブ配信                      ③アーカイブ配信
備考欄	※複数名で参加される場合は、同行者のお名前、視聴人数等をご記入ください。

【個人情報の取り扱い】

本事業で得られる個人情報は、個人情報取扱に関する法令等を遵守し、「令和4年度地域の食の絆強化推進運動事業」の必要な範囲(研修会等に関する告知・連絡、確認、アンケートの実施等)、及び、関連する地産地消情報等の共有等で適切に利用し、それ以外での無断使用はいたしません。